

(14) 栽培漁業技術開発

予算

運営費交付金

概要

大阪府栽培漁業基本計画の対象種であるキジハタ、トラフグ、アカガイおよびメバルについて、放流技術の開発を公益財団法人漁業振興基金の協力の下、実施している。

1. キジハタ

サイズ別の放流効果を検証するため、2019～2021 年に異なるサイズでの標識放流を行った海域において、刺網試験操業を行った。その結果、標識魚が合計 3 尾、放流魚由来と考えられる形態異常魚が 12 尾確認された。

2. トラフグ

有機酸および胸鰭切除による標識を放流魚の全数に施し、大阪市北港と貝塚市二色の浜の 2 ヾ所に放流した。市場調査などによる放流魚の追跡調査の結果、2 個体の放流由来魚の採捕が確認された。

3. アカガイ

石げた試験操業では放流個体が 2021 年放流群が 3 個体採捕され、市場調査では 2018 年～2021 年放流群を 152 個体確認した。

4. メバル

スパゲティ型タグを装着して放流を行った。標識放流についてポスター掲示、SNS での紹介を行い、釣り人から 117 尾の採捕報告が得られた。

調査方法

1. 調査期間と実施日

2023 年 4 月～2024 年 3 月

2. 調査項目

1) キジハタ

過去の放流海域において刺網試験操業を行った。

2) トラフグ

標識放流を行い、採捕データをまとめた。

3) アカガイ

2021 年までに放流した海域において石げた試験操業を行った。あわせて、泉佐野および尾崎漁協で市場調査を実施し、採捕データをまとめた。

4) メバル

標識放流を実施した。標識放流について研究所 HP のほか各漁協や釣り公園、釣具店でのポスター掲示や SNS での情報拡散を行い、採捕報告を募った。

調査結果

表 1～7 のとおり。

担当者

辻村浩隆、山中智之、木村祐貴、安岡法子

表 1 栽培漁業技術開発 キジハタ試験操業結果

		2023/6/21	2023/6/23	2023/7/6	2023/7/13
		堺	泉大津	堺	泉大津
無標識魚	形態異常なし	8	2	12	8
	頭部陥没	2	－	7	3
標識魚	ALC	－	－	－	－
	鰭抜去	－	－	1	－
	ALC＋鰭抜去	－	2	－	－

表 2 栽培漁業技術開発 トラフグ標識放流結果

放流日	場所	平均全長(mm)	放流数	標識
2023/7/19	大阪市北港	70.7	12000	右胸鰭切除＋有機酸標識(頭部横2カ所)＋ALC(ふ化時)
2023/7/20	二色の浜	66.8	12000	右胸鰭切除＋有機酸標識(背面1カ所)＋ALC(ふ化時)

表 3 栽培漁業技術開発 トラフグ採捕結果

採捕日	採集場所	漁法	全長(mm)	標識	放流年	放流場所
2023/8/21	泉佐野漁協水揚げ	板曳網	405	右胸鰭変形＋有機酸紋間	2020	堺浜
2024/3/14	泉佐野漁協水揚げ	石桁網	400	右胸鰭欠損＋有機酸頭部背面1カ所＋ALC	2022	大阪市北港

表 4 栽培漁業技術開発 試験操業における標識アカガイ採捕結果

調査日	標識色	放流年度	殻長(mm)	個数	採捕場所
2023/5/10	水色	R3	56.5	1	阪南市沖
2023/5/10	水色	R3	57.2	1	阪南市沖
2023/5/10	水色	R3	54.2	1	阪南市沖

表 5 栽培漁業技術開発 市場における標識アカガイ水揚げ状況

	水揚げ個体数	標識個体数	混入率(%)
泉佐野漁港	8169	132	1.6
尾崎漁港	62	20	32.3

表 6 栽培漁業技術開発 標識メバルの放流結果

放流日	場所	標識色	平均全長(mm)	放流尾数
2024/1/25	岬町地先	赤色	114.6	5000
2024/1/25	岬町地先	黄緑色	114.6	5000

表 7 栽培漁業技術開発 標識メバルの採捕報告結果

場所	標識色	採捕尾数
神戸市	水色	1
忠岡町	水色	1
貝塚市	水色	2
泉佐野市	水色	3
田尻町	黄緑色	3
泉南市	水色	1
	黄緑色	2
阪南市	黄緑色	1
岬町	水色	49
	赤色	47
	黄緑色	48
和歌山市	水色	5
	黄緑色	8